

# 食品の放射能自主検査

～スクリーニング検査・精密核種分析～

を行います。



## ■食品の放射能自主検査の流れ■

サンプル搬入



①スクリーニング検査



②精密核種分析

## ① NaI (TI) シンチレーションスペクトロメータによるスクリーニング検査

～厚生労働省 事務連絡平成 23 年 7 月 29 日 『牛肉中の放射性セシウムのスクリーニング法』より～

【目的】Ge 半導体検出器の数が限られていること、必要とする試料量が比較的多いこと等、多数の試料を効率よく検査する必要があるため、暫定規制値よりも確実に低い牛肉検体を判別するために本方法を策定した。

・スクリーニング要件:

検出下限値が 50Bq/kg、スクリーニングレベルは暫定規制値(500Bq/kg)の 1/2 以上⇒250Bq/kg 以上

※スクリーニングレベルが暫定規制値(500Bq/kg)に近いほど高性能

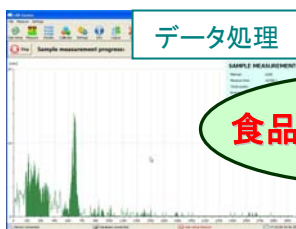
例)スクリーニングレベルが 250Bq/kg の測定機器の場合⇒250Bq/kg 未満値であればスクリーニング調査で終了  
⇒250Bq/kg 以上検出された場合は精密核種分析

★当社はスクリーニングレベルが 400Bq/kg 以上の高性能 RT-50 を用いて  
調査を行いますのでほとんど無駄がありません！

測定機器	NaI(TI)シンチレーションスペクトロメータ(RT-50:GEORADIS 社)
測定項目	放射性核種分析(ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137)

— 測定機器 RT-50 の特徴 —

- 迅速測定
- 安価な測定料金
- 高感度(検出器:76.2mm×76.2mm)
- 少量 100mLor750mL(試料により異なる)
- 食品以外にも対応可能



食品全般対応可能



- ①400Bq/kg 未満値の場合⇒スクリーニング調査で終了
- ①400Bq/kg 以上検出された場合⇒②精密核種分析

## ② ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる精密核種分析

●スクリーニング調査で 400Bq/kg 以上検出された場合の精密核種分析

測定機器	ゲルマニウム半導体検出器(CANBERRA 社)
測定項目	放射性核種分析(ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137)
解析方法	文部科学省「ゲルマニウム半導体検出器による ガンマ線スペクトロメトリー」(平成 4 年改訂)に準拠

Ge 半導体検出器



■お問合せ■ エヌエス環境株式会社 全国の最寄スタッフがサンプリングから対応可能！！

【本社】〒105-0003 東京都港区西新橋 3-24-9 TEL:03-5405-1241 FAX:03-5405-3683

【東京支社】〒339-0067 埼玉県さいたま市岩槻区西町 3-6-13 TEL:048-749-5881 FAX:048-749-5889